

さいたま市シニア大学大宮校  
第六期校友会

## 六班だより

2010年8月 第19号  
編集・発行 岡村昭則

故鈴木軍次さんを偲び思い出を綴り 心よりご冥福を祈ります（七月二十二日逝去）

私達は平成十八年五月十一日、さいたま市シニアユニバーシティ大宮校六期生として入学し、受付で班別の一覧表をもらい6班に配属されていることを知りました。

入学式の会場で直接六班の皆さんとお会いすることはありませんでしたが、一週間後に初めてジャック大宮の講義室で六班の皆さんとお会いして、その場で今後のクラス運営の役割分担、学友会、課外活動等について話し合ったところ、班の中心的役割を担ってくれる

る班長に鈴木軍次さんが自発的に引受けてくれたので、他の役割分担も直ぐに決まりました。

6班のスタートは鈴木さんの班長引受けから始まったといつても過言ではありません。六月二十八日の課外授業「東京証券取引所、科学未来館、隅田川クルーズ」に鈴木さんも参加され班をまとめました。その後、鈴木さんが個人情報取り扱いにも配慮して下さいと添え書きをした連絡網を作ってくれました。今でも私はそれを使っています。

十一月に行われる、学園祭のアトラクションに参加するため6班は、休日も返上してシーノで練習をしました。鈴木さんも参加して始めましたが、途中で病に倒れ残念ながら学園祭に参加できませんでした。その後長期入院となったものの、文集に「出会いは運命、そして必然」を内容とする「楽しい思い出を感謝」を寄稿してくれました。読み直してみても当時の鈴木さんの思いが伝わってきます。平成十九年二月二日、南浦和の文化センターで行われた卒業式には、6班の全員が揃って出席しま

した。特に嬉しかったのは長期入院を強いられた鈴木さんが参加してくれたことです。

平成十九年五月八日、シニアユニバーシティ大学院入学式が行われました。6班からは中村さんが進学しないので十一名が進学することになり十名の方が入学式に出席しました。私の授業風景の中には、入学式で一番嬉しかったのは、昨年の秋に病に倒れた前班長の鈴木さんが出席してくれたことだと記されています。

この一年間も鈴木さんは入院の繰り返しでしたが、二十年一月、第一号「校友会だより」に6班全員の原稿を掲載するために、年末に鈴木さんの家に、見舞いがたらお邪魔したことがありました。その時も元気そうで体力の回復に務めているとおっしゃっていたことが昨日のように思えてきます。第一号「校友会だより」には「仕事をリタイヤーし、さて何をしたらいいかと悩んでいた時、偶然にシニア大学入学を知りました。友達の輪を広げたいと軽い気持ちで入学申込をしました。入学の動機は不純だったかも知れませんが、

皆様親切で良い方ばかりでした。感謝申し上げます」と結んでいます。私達にとつても鈴木さんと知り合えてよかったです。

平成二十年三月十八日、シニアユニバーシティ大学院卒業式には、この一年間、病のために思うように授業に出席できなかった鈴木さんも参加してくれました。六班だけで集合写真を取りましたが、真ん中でうれしそうな鈴木さんの姿が印象的でした。

同年三月二十六日に行われた総会・懇親会に鈴木さんも参加され、アトラクションの「涙そうそう」にハワイアン姿で私の隣で楽しく歌っている姿が何時までも脳裏に焼きついていきます。

二十二年度六班活動の一回目として三月三十日に大宮公園で花見会を開きました。一番嬉しかったのは、シニア大学在学中から体調を崩し、余り班活動に参加できなかった鈴木軍司さんが久しぶりに参加してくれたことです。鈴木さんも皆さんに会えて喜んでいましたが昨日のように思い出されます。

天の川どの思い出も

かわりなし 合掌



H18.6.28 未来科学館



H19.2.2 ユニバーシティ卒業式



H20.3.18 シニアユニバーシティ大学院卒業式



H20.3.26 懇親会「涙そうそう」



H22.3.30 大宮公園にて花見会